

松本市庄内地区公民館で全3回の講座 “食”する力をつけよう

長野農政事務所地域第一課は2月16日、松本市庄内地区公民館の「庄内ふるさと“ほっと塾”」で、昨年来の消費者懇談会と食品表示セミナーに続き3回目となる食育学習懇談会を開きました。



食べ物の味を知ってほしい



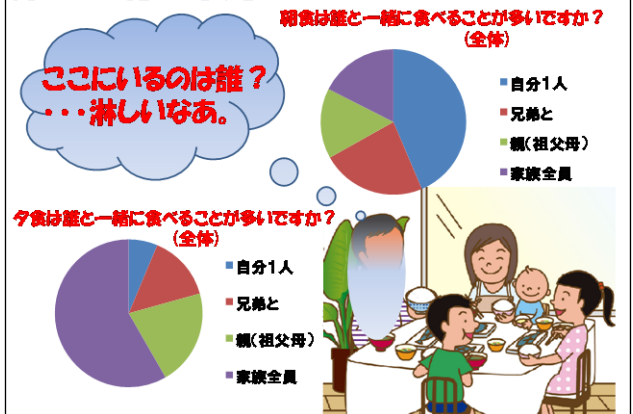
報告いただいた事例のひとつを紹介し
（上：手づくりにこだわる松本市西部給食センター（煮干しの頭と腹をていねいにとって出汁づくり）、右：食生活アンケートの結果の一部、
下：バジルクラブの取り組みの一部）



懇談会では、一人一人が“食”する力をつけられるよう、①データでみる 健康長寿・長野県の食文化（松本保健福祉事務所健康づくり支援課）②庄内地区公民館が秋のつどいで行った食生活アンケート（庄内地区健康づくり推進員会）③“食”する力をつけよう！地域発～市・県・日本の食育！（長野農政事務所地域第一課）④教育ファーム実証モデル事例（バジルクラブ）⑤松本市内の食育（市学校給食課）を紹介し、事例発表者をパネラーとしたパネルディスカッションと、会場との意見交換を行いました。

アンケートでは、朝食を食べない理由に「食べない習慣・用意がなかった」と答えた子どもたちが約1割いたのも気になりました。

誰と一緒に食事をしていきますか？



さまざまな現場の取り組みを一度に聞くことができる機会となり、「大変勉強になった」との感想をいただきました。

“食育は家庭から”とお話もありました。より多くの方に関心を寄せていただき、“食”を知っていただけるよう、当事務所としても引き続き努めてまいります。

長野農政事務所地域第一課